

2017年6月20日

松阪市との『高齢者にやさしいまちづくりに関する協定』の締結について

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、松阪市（市長：竹上真人）が取り組む「高齢者にやさしいまちづくり」の実施について、6月20日に協定を締結いたしましたのでお知らせします。

1. 背景・経緯

- ・松阪市は、超高齢社会を迎え、「いかに地域の安心安全を守っていくか」を行政の大きな課題とし、高齢者を地域で支えあうため、見守りネットワークの強化を目的に、高齢者にやさしいまちづくりの取組みを積極的にすすめる企業や団体と協定を結んでいます。
- ・損保ジャパン日本興亜は、お客さまの安心・安全・健康をサポートすることを志向する保険会社として、地域と産業の安定的な繁栄と安心な暮らしを支援するノウハウを活かし、市民サービスの向上と地域の活性化に貢献するため、このたびの協定に至ったものです。

2. 協定の内容と目的

- ・松阪市と損保ジャパン日本興亜は、以下の活動において協定します。
 - (1) 松阪ビルで働く全従業員が認知症サポーターとして、高齢者が安心して暮らせるまちづくりに貢献します。
 - (2) 徘徊SOSネットワークまつさかへ登録し、高齢者が安全に暮らせるまちづくりに貢献します。
 - (3) 松阪ビルを高齢者がお困りの際にご利用可能な避難場所とし、従業員が真摯に対応します。
 - (4) 事業活動において、お困りの高齢者を従業員が発見した場合は、積極的に声をかけ、関係先に連絡するなどの対応を行います。
 - (5) 地域のイベント等に積極的に協力していきます。
- ・損保ジャパン日本興亜は、民間損保会社としては地域マーケットシェア1位の損害保険会社として、長年、地域に密着して松阪市民のみなさまの安心・安全な暮らしをお守りしてきました。
- ・地域に根ざした幅広いお客さまとの接点があるという強みを活かして、地域の高齢者をしっかりとお守りし、地域に貢献していきます。

3. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、松阪ビルに勤める全従業員が安心・安全・健康への感度を高め、より一層地域に密着して松阪市民のみなさまの安心・安全・健康を支えていくための取組を一丸となってい、松阪市に貢献していきます。

以上